

事業所名 オリーブまなびの家（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

24日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの願いに寄り添い、自発性を尊重する。 ・多様な集団の中で社会性を育み、生きる力を付ける。 ・ご家族の気持ちに寄り添い、一緒に子どもを育てる。 ・発達の目を育む、子どもたちの第三の居場所を創る。 			
支援方針		<p>①自立支援：子どもたちが自発的に行動できるためのサポートを第一とし、喜びや嬉しさを共有する時間を大切に行動します。子どもたちが安心してまなべる居場所としてそれぞれそれぞれの歩幅でまなびを育てる場所になるようじっくり、ゆっくり子どもたちの成長をサポートします。</p> <p>②人権尊重：ひとりひとりの人権を尊重し、個性を大切に考えます。子どもたちの行動・考え方の理解に努め、ありのままを受け止めます。</p> <p>③地域貢献：地元地域の方へ向けた支援事業であることを認識し、地域社会への貢献を常に意識した行動をします。</p>			
営業時間		平日 13時0分19分 土曜・祝日 10時30分から17時0分まで 長期休暇 12時0分18分	送迎実施の有無		あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活スキルの獲得のため、お着替え、お片づけ、手洗い等の日常生活動作の練習をします。 ・就園・就学に向けて、整理整頓・荷物の準備を1人でできるように練習をします。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ハサミや鉛筆などの使い方の練習をします。 ・お子さまの発達段階に合わせて机上課題に取り組みながら、持続して着席し、姿勢を保持する練習をします。 ・感覚運動遊びを通して、基本的動作・技能の向上を目指します。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・「ことば」「数」を具体物や動作などを交えながら「概念」を覚えていきます。 ・認知トレーニングやビジョントレーニングを通して、「見る力」「聞く力」「ワーキングメモリ」の能力を育みます。 ・さまざまな遊びを通じて、空間認知・知覚推理力・想像力を育みます。 ・天気、日付の把握と確認による感覚、数の認知形成を育みます。 			
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な物事や体験と言葉の意味を結び付け、体系的な言葉の習得や自発的な発声を促します。 ・指差しやサイン、絵カード等を活用し環境の理解や意思の伝達が円滑に出来るよう支援します。 ・活動や関りを通して、会話やコミュニケーションに触れながら相手の意図を理解する力や自分の思いを言葉で表出出来るよう支援します。 			
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動や遊びを通して、行動の模倣や象徴遊び、平行遊び、共同遊び等徐々に社会性の発達を育んでいきます。 ・小集団でのコミュニケーショントレーニングを行い、お友だちとの遊びを通して、集団でのルール等を理解しながら、気持ちのコントロールや周囲との調和を図れるよう集団での過ごし方学んでいきます。 ・信頼関係をもとに、人との安定した関係性の形成ができるように支援します。 			
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や電話で相談や助言。 ・保護者が参加可能な講座の実施。 ・ごきょうだいが参加可能なイベントの実施。 ・保護者会の開催。 	移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・進路の選択について本人や家族への情報提供や相談援助 ・地域住民を招いての行事の開催
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所、就園先、児童が利用する他事業所等と連携を取り、情報交換を行います。 	職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・面談（年1回） ・内部研修・外部研修（適宜） ・ミーティング（適宜）
主な行事等		進路ガイダンス、夕涼み会、保護者交流会、性教育講座、おもちゃつき、水遊び			